

# 山の神砂防堰堤



CIARCo（不透過型・練り石積みアーチ式）

山の神砂防堰堤は、高瀬川の上流部に位置する練り石積みアーチ式ダムです。槍ヶ岳を源流とする高瀬川の流出土防止を目的に造られ、昭和27年に着工し昭和31年に完成しましたが、昭和53年の東京電力七倉ダムの完成により貯水池内に埋没しました。現在は東京電力七倉ダムの水位が下がった時にだけその姿を見ることができます。

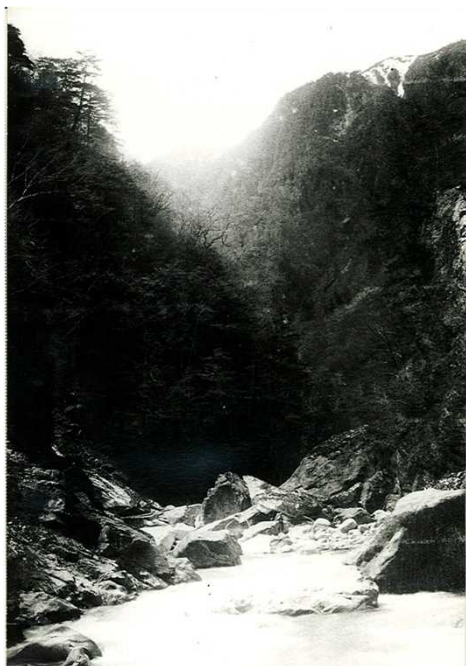
## 施工の概要

機材の運搬には、営林署所有の森林軌道を利用していました。昭和45年に大出水により損傷しましたが、翌46年には災害復旧工事で修復されました。

## 諸元表

工作物名		山の神砂防堰堤				施工期間		昭和27年4月1日～ 昭和31年3月31日	
施行地先名		長野県大町市平区			河川名		信濃川流域高瀬川		
計画諸元	地質		流域面積	洪水流量	扞止量	貯砂量	調節量	元河床勾配	貯砂勾配
		花崗岩		142 km2	497 m3/s	426,000 m3	423,000 m3	42,000 m3	1/24
構造諸元	ダム床固め護岸工	工種	型式	高 (m)	長 (m)	体積 (m3)	天端幅 (m)	天端処理	天端標高 (m)
		主ダム	R=30m アーチ式	23.0	52.52	5,955	3.00	石張り	1032.00
		第1副ダム	重力式	5.5	23.71	235	3.00	石張り	1014.00

# 写真



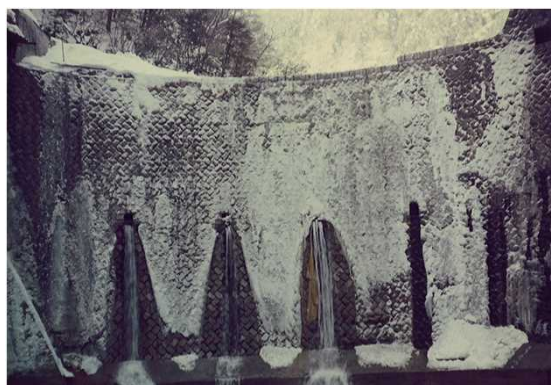
着工前



完成



昭和45年の大出水による破損



昭和47年災害復旧工事による修繕



山の神砂防堰堤(昭和50年9月)

